

2026 年 6 月 22 日作成 Ver.1.0

《情報公開文書》

抗凝固療法下に発症した心房細動関連心原性脳塞栓症の臨床的・画像的特徴と左房リモデリングとの関連

研究の概要

【背景】

心房細動は脳梗塞の重要な原因の一つであり、抗凝固薬による治療は脳梗塞の予防に有効であることが知られています。しかし、抗凝固薬を適切に服用していても脳梗塞を発症する患者さんがおられ、その原因は十分には明らかになっていません。また、このような患者さんの心臓や脳画像の特徴についても十分な検討が行われていません。

【目的】

本研究では、抗凝固薬を服用していたにもかかわらず脳梗塞を発症した患者さんの特徴を明らかにすることを目的としています。特に、心臓超音波検査で評価される左心房の変化と脳梗塞との関連について検討します。

【意義】

本研究により、抗凝固薬内服中にも脳梗塞を発症する患者さんの病態への理解が深まり、将来的な脳梗塞予防やリスク評価の向上につながる可能性があります。

【方法】

長崎大学病院へ入院された心房細動関連心原性脳塞栓症の患者さんを対象とします。診療録（電子カルテ）、画像検査および心臓超音波検査の情報をを用いて解析を行います。本研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。

対象となる患者さん

2019 年 1 月 1 日から 2026 年 2 月 28 日までに長崎大学病院に入院し、心房細動に関連した心原性脳塞栓症と診断された患者さん

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 年齢、性別
- 高血圧、糖尿病、脂質異常症などの既往歴
- 喫煙歴
- 脳梗塞既往歴
- 心房細動の種類（発作性心房細動、慢性心房細動）
- 抗凝固薬の種類および投与量
- 血液検査結果
- 脳 MRI・脳 CT 等の画像所見
- 脳血管閉塞部位
- 心臓超音波検査所見
(左房径、左房容積係数、左室駆出率など)
- 脳梗塞の重症度および機能予後
- 退院後の脳卒中再発、心血管イベントおよび生命予後

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日／提供開始予定日

本研究は 2026 年 8 月 24 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2027 年 3 月 31 日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 脳神経内科 氏名：立石 洋平 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7 2 6 5
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 脳神経内科 立石 洋平

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7 2 6 5 FAX 095（819）7 2 6 5

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）